

GRASS ROOTSの冒険者たち

～ 深めよう! たどり着いた未来に向かって ～

その29 (R04.09.28)

～ 笑顔と感動の運動会 その2 ～

9 七月エイサー



10 南中ソーラン



11 団リレー 1・2年



12 団リレー 3・4年



13 団リレー 5・6年



14 閉会式



◎閉会式のお話

今年度の運動会は榛名団の優勝、赤城団の準優勝で幕を閉じました。

まず、「自分が主役だった！」と思えましたか。「頑張ったね!」、「感動したよ!」、「すごかったよ!」という応援の声を、たくさん聞くことができましたね。

ここから、みなさんの表情を見ると、すてきな笑顔がたくさんあります。応援し合うことで、お互いの絆が深まりましたね。

次に、「自分らしさ」が出せた運動会でしたか。どの競技でも精一杯頑張ったり、苦しいことから逃げなかったり、失敗したり転んだりしても立ち上がったりする素晴らしいみなさんは、きらきら輝いていました。

今日までの練習、そして今日の運動会を通して、「自分らしさ」をたくさん表せましたね。これらのことを自信にして、これからも大きな壁に立ち向かえることと思います。

保護者のみなさま、お子さんへのあたたかい眼差しがとてもすばらしかったです。たくさんのお手拍子に支えられ、子供たち全員が、主役として、自分らしさを発揮しながら、頑張り抜くことができました。本当に、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりましたが、「笑顔」と「感動」にあふれる運動会でした。すばらしい運動会をありがとうございました。

最後まであきらめない「自分らしさ」

「君が主役だ!らしくいこうぜ!」のスローガンのもと、素晴らしい運動会になったことに感謝・感激しています。

学年通信・学級通信・児童の振り返り等で、学年・学級、児童一人一人のことはわかると思いますので、ここでは、印象的だったたくさんのシーンから1つだけ紹介します。

5・6年の団競技「棒引き」のワンシーンです。1勝1敗で迎えた決勝戦、赤城団の児童1人に対して、榛名団は児童5人くらいで棒を引き合っていました。人数の差があるので、榛名団の陣地に棒は引かれていきました。

それでも、赤城団の児童一人はあきらめることなく、何とか粘り続けていました。

榛名団の陣地にあと1mくらいになったとき、榛名団の数人は引き終わったと思い、次の棒へ移動しました。

ところが、完全に引き終わっていなかったため、赤城団の一人が1mくらい赤城団の陣地の方へ引っ張り返しました。慌てて、榛名団の数人が棒のところに戻り、何とか、榛名団の陣地に引き終わりました。

最後まであきらめずに、一人でも粘り強く頑張る「自分らしさ」が見られ、私はとても感動しました。

もちろん、他にも感動したシーンはたくさんありました。たどり着きたい未来に向かう「自分らしさ」、大切ですね。

たくさんのご声援、本当にありがとうございました。児童、保護者、教職員のおかげで、私自身も素敵な時間を過ごすことができました。